

柏崎刈羽原子力発電所7号機 設計及び工事計画の届出書提出について (低圧蒸気タービンの取替)

- 2008年に、柏崎刈羽6,7号機において、低圧タービン動翼の損傷を確認。損傷箇所を確認した結果から、原因は高サイクル疲労※と推定。
【2008年9月19日公表済】
- 当時の対策として、新品への交換や傷の除去、運用面の見直し等を実施。2009年の運転再開以降、現時点までに異常なし。
- 将来に向けた更なる信頼性向上にむけて、より振動応力に強いタービンの設計改良を進めてきており、今般、その設計改良が完了したことから、当該タービンの製造に着手。

※ 材料に約1万～10万回以上繰り返して荷重が加わることにより、亀裂が発生し最終的に破断に至る現象

2022年3月10日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

2008年3月 柏崎刈羽6,7号機において、低圧タービン動翼に損傷を確認

2008年9月 損傷の原因と対策を取りまとめ、報告書として公表※

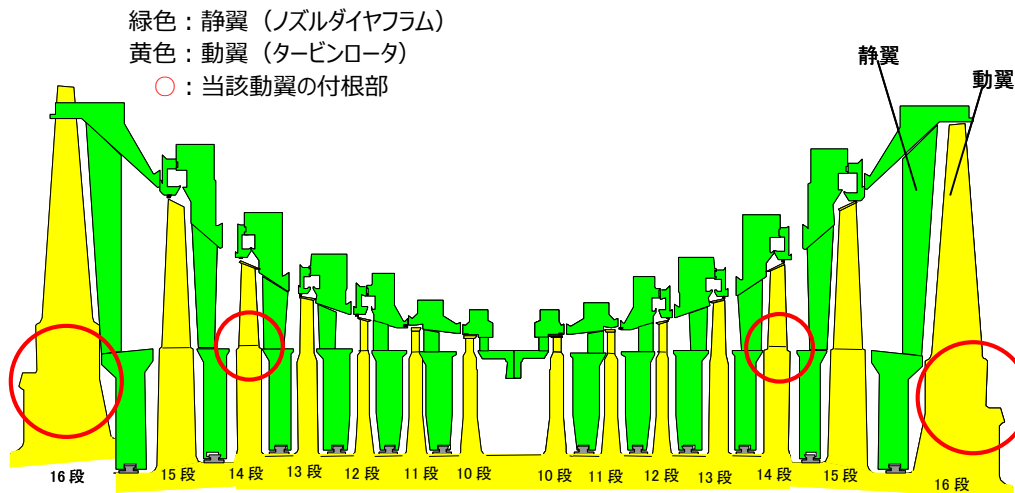
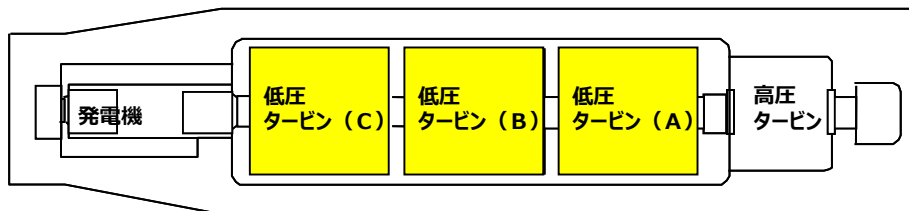
- 原因は、高サイクル疲労によるもの
- 設備面と運用面で対策を実施し安全性を確保
 - ✓ 設備面：新品への交換、傷の除去、等
 - ✓ 運用面：高サイクル疲労の要因となる事象の経験量に応じて点検
上記以外にも、累積運転時間に応じて抜き取り点検
プラントパラメータのモニタリング、等

⇒2008年以降の運転について異常が無いことを確認済

- 更なる信頼性向上策として、以下を計画
 - ✓ 損傷部位の検査技術の信頼性向上【2024年頃実用化予定】
 - ✓ 設計改良を行い、より振動応力に強いタービンへ取替、等

今回 更なる信頼性向上策のうち、タービン取替に係る設計改良が完了したことから、7号機タービン製作に向けて原子力規制庁に「設計及び工事計画の届出書」を提出予定

- 6,7号機の蒸気タービンは、高圧タービン1台と低圧タービン3台で構成。
- 各低圧タービンの動翼は、第10~第16段で構成されているが、2008年3月の点検において、第14段と第16段動翼の付根部に損傷を確認。



← 発電機側

6・7号機 タービン図

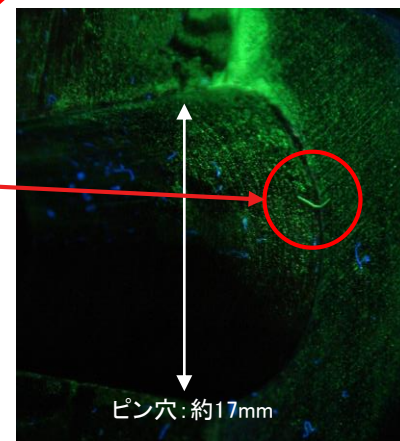
タービン側 →



第14~16段
動翼の構造
(付根部:フォーク型)



第14段動翼の損傷状況（折損）

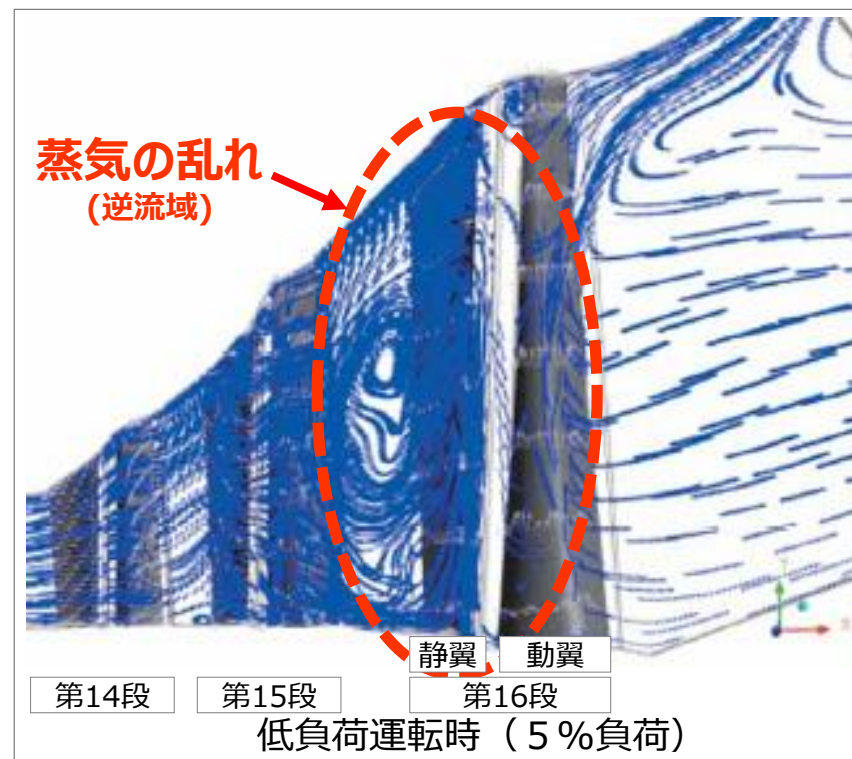
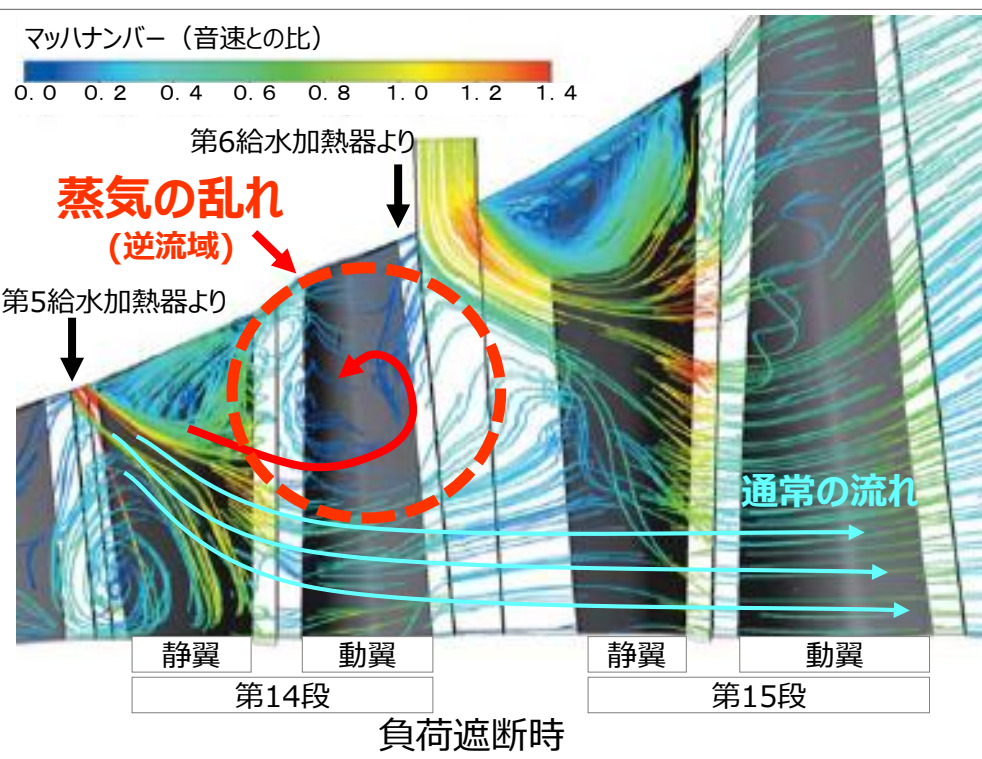


第16段動翼の損傷状況（傷）

- 流れ解析等の結果、以下の要因で蒸気の乱れによる振動応力が発生し、高サイクル疲労を起こしたものと推定。
 - 第14段：負荷遮断※¹時、低圧蒸気タービン内が急激に真空に近い状態となることで、給水加熱器に送っていた蒸気に高速の逆流が発生（フラッシュバック）
 - 第16段：低負荷運転※²時、第16段付近の蒸気の流れに乱れが発生（ランダム振動）

※¹ 送電システムトラブル等からタービンや発電機を守るため、負荷から切り離されること

※² 定格に対して低い負荷（蒸気流量が少ない状態）で、タービンを定格回転数で運転している状態



流れ解析の結果

- 設備面と運用面において、以下の対策を実施。

	第14段	第16段
設備	<ul style="list-style-type: none"> • 全ての同翼を、同設計の新品に交換 	<ul style="list-style-type: none"> • 全ての同翼で、傷発生箇所（ピン穴端部）を面取り加工し、傷の除去と応力の緩和を実施
運用 (点検)	<ul style="list-style-type: none"> • 負荷遮断が4回に達した時点で点検（損傷確認時の12回に対し保守的に1/3） • 負荷遮断が4回に達しなくても、低圧車室(B)タービンの開放点検に合わせて動翼フォーク部を点検（サンプリング率は翼数の20%程度） 	<ul style="list-style-type: none"> • 低負荷運転時間が80時間に達する前に点検（損傷確認時の約240時間に対し保守的に1/3） • 低負荷運転時間が80時間に達しなくても、低圧車室(B)タービンの開放点検に合わせて動翼フォーク部を点検（サンプリング率は翼数の20%程度）
運用 (監視、 運転 操作等)	<ul style="list-style-type: none"> • プラントパラメータのモニタリング（負荷遮断によるフラッシュバック発生時） 	<ul style="list-style-type: none"> • プラントパラメータのモニタリング（低負荷運転時） • 低負荷運転時間を可能な限り短縮（低負荷時の逆流が発生する時間を低減）

【参考】2008年以降の運転実績は、損傷時や設定した点検タイミングに対して十分な裕度がある状態。

- 2008年に損傷を確認 ⇒ 負荷遮断：12回、低負荷運転：約 240時間 [プラント運転時間 約10年]
- 原因を踏まえ、2008年に点検タイミングを設定 ⇒ 負荷遮断：4回、低負荷運転：約 80時間
- 交換・補修後、2008年以降の運転実績 ⇒【6号機】負荷遮断：0回、低負荷運転：約 23時間 [プラント運転時間 約1.5年]
⇒【7号機】負荷遮断：0回、低負荷運転：約 18時間 [プラント運転時間 約1.5年]

- 設備面と運用面における対策により安全性に問題はなく、これまでの点検からも、異常は無いことを確認済。
- 加えて、将来に向けた更なる信頼性向上を目的として、設計改良を進めてきており、今回、設計及び工事計画の届出を行い、タービン製作を進めていく。

項目	取り組み事項（2008年9月19日公表済み）	実施状況
運用 (点検等)	<ul style="list-style-type: none"> • 第14段および第16段の点検やモニタリング結果を適宜、分析・評価し、対策の有効性を確認 	2009年12月より実施中 (運転時のみ)
	<ul style="list-style-type: none"> • タービン動翼フォーク部（付根部）の検査技術として、超音波探傷試験（UT）※1の信頼性向上を検討 	傷検出可否の確認試験中 (2024年実用化予定)
	<ul style="list-style-type: none"> • 7号機低圧（B）タービン第16段動翼のフォーク部点検に合わせて、第15段動翼のフォーク部点検を行い、今後の知見を拡充 	設計改良タービンへの取替 進捗も考慮し今後検討
設計	<ul style="list-style-type: none"> • 負荷遮断時のフラッシュバックや、低負荷運転時のタービン動翼に発生する応力について、詳細に評価 • フォーク部（付根部）に発生する振動応力が一層低減するような設計改良について、10年程度以内※2の実用化を目標に検討 	タービンの設計改良が完了 今回、製作に着手

※1 非破壊検査法の一つ

※2 プラント運転時間を考慮して設定。2008年以降のプラント運転時間としては約1.5年

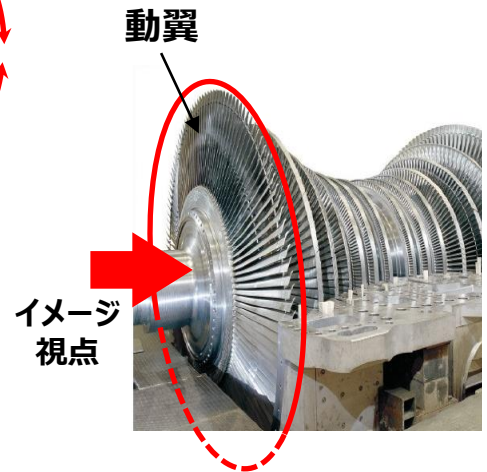
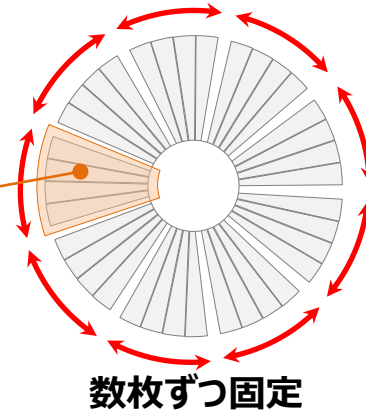
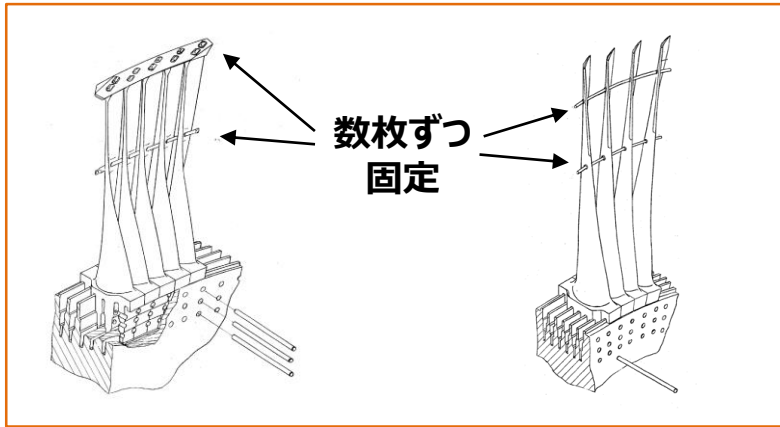
- 設計改良したタービンでは、全ての動翼をカバーで束ねる全周一群構造を採用することにより、振動を抑制するとともに動翼全体の剛性を向上。

第14段動翼

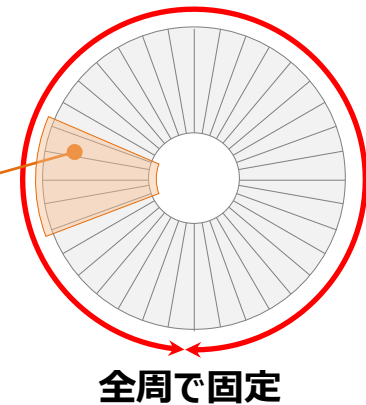
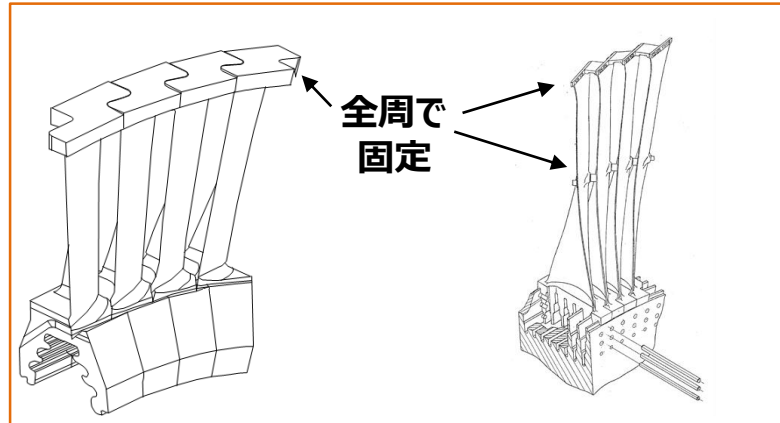
第16段動翼

動翼固定のイメージ

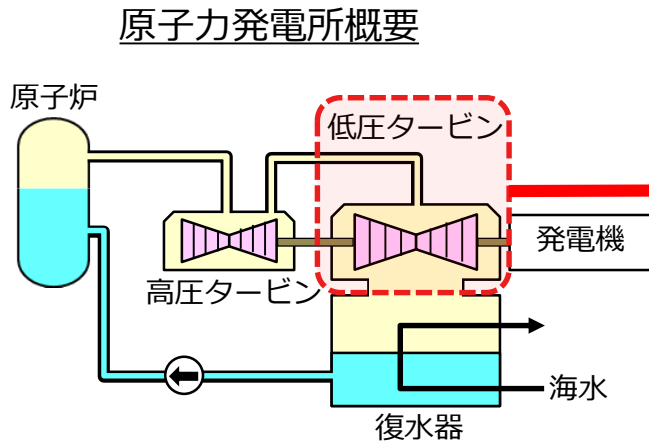
現在の設計



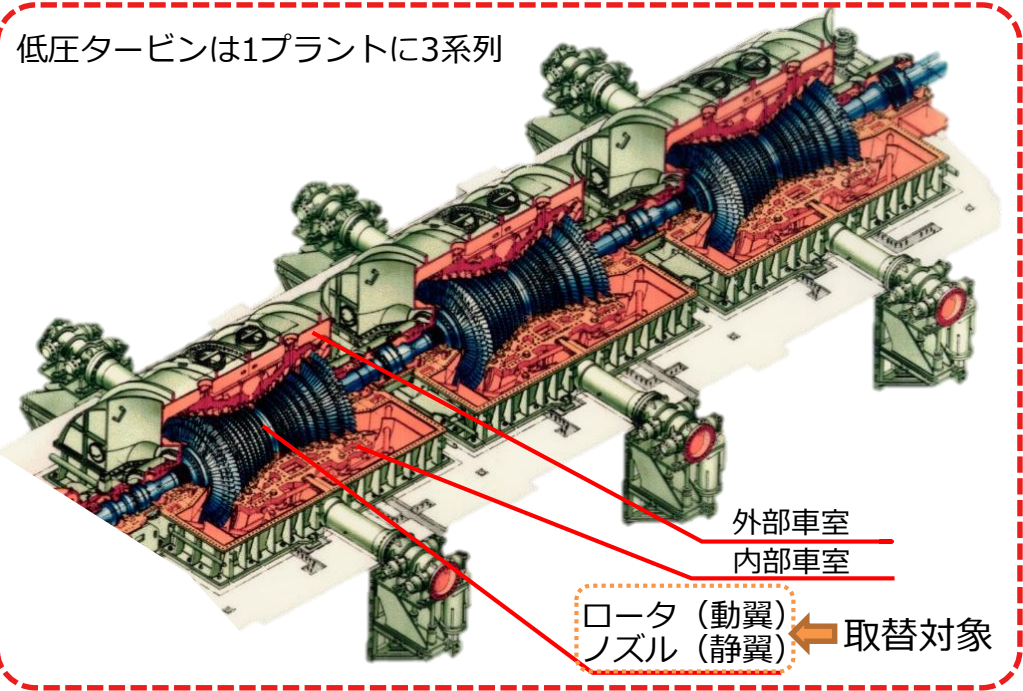
設計改良後



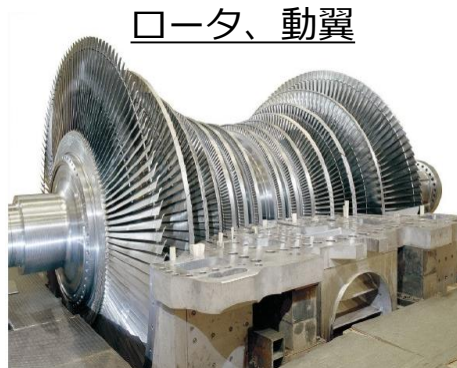
■ タービン：蒸気の流れを変え、発電機を回し電気を発生させる機器



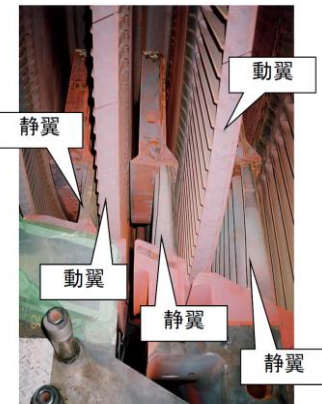
低圧タービンは1プラントに3系列



■ 今回取替対象となる設備



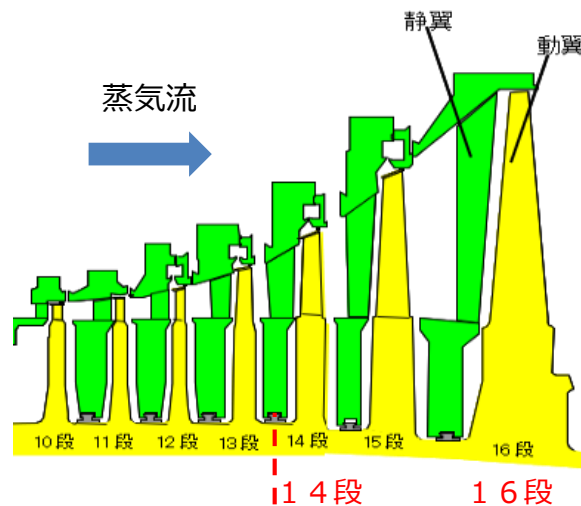
動翼と静翼が交互に組み合わせられる



低圧タービン動翼の付根部は大きく二つの種類に分類される。

○10段～13段:鞍型

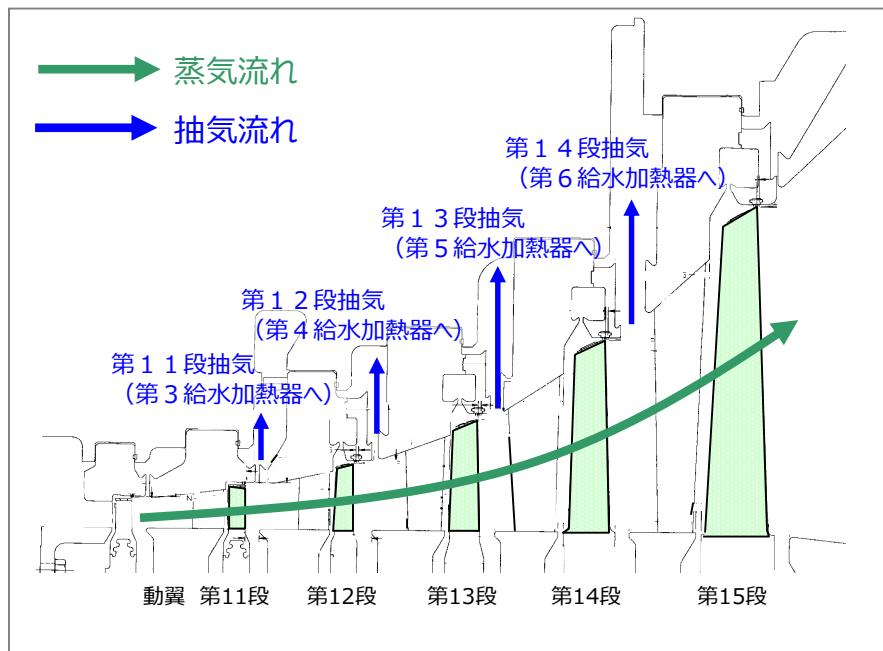
※損傷は確認されず



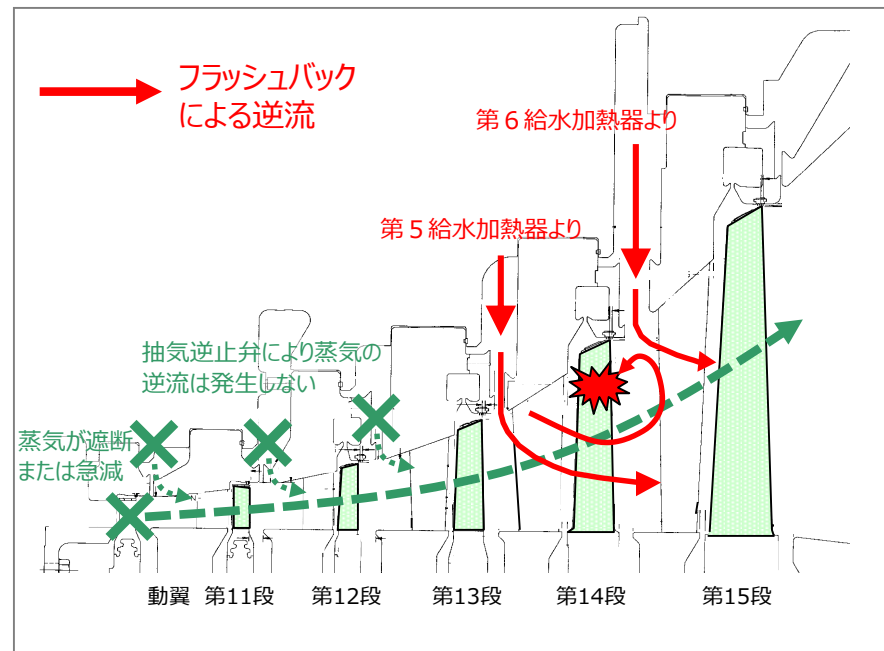
○14段～16段:フォーク型

※14段、16段が損傷





通常運転時の蒸気の流れ



フラッシュバック時の蒸気の流れ

フラッシュバックの挙動

- ① 蒸気量が急減または蒸気が遮断
- ② タービン内の圧力が低下
- ③ 給水加熱器の圧力が低下し、加熱器内で減圧沸騰が発生し、蒸気が高速で逆流する

プレス公表（運転保守状況）

2022年3月10日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

発生日

2021年5月12日

号機

—

件名

7号機ガスタービン発電機車からの油漏れについて（区分:Ⅲ）

【事象の発生】

2021年5月12日午前10時12分頃、ガスタービン発電機車が設置されているエリアにおいて、ガスタービン発電機車の燃料廃油受け（ドレンポット）※から油（軽油）がコンクリートの地面に滴下していることを当社社員が巡視中に確認しました。漏れ出た油の量は、約960ccと推定しており、その後、漏えい箇所には受け皿を設置し、油の滴下は停止しております。また、漏れた油については、拭き取りをおこなうとともに、中和剤での処理を行いました。なお、滴下した油については、側溝等への流入はなく、環境への影響はありません。

※ガスタービン運転時に燃焼しきれずに燃え残った油を一時的に貯めておくもの。

①【対応状況】

今後、ガスタービン発電機車から油が漏れた原因について調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。

（2021年5月12日にお知らせ済み）

【原因】

ガスタービンに付属する燃料ポンプの分解調査を行った結果、燃料配管などの改造工事等でガスタービンを長期間停止したことにより、当該ポンプの軸受部の潤滑油が不足。これにより、ガスタービンの起動時に軸受部が摩耗し、ドレンポットに必要以上に潤滑油が滴下したことが原因と推定しました。なお、当該の燃料ポンプは、2021年10月に交換しました。

【対策】

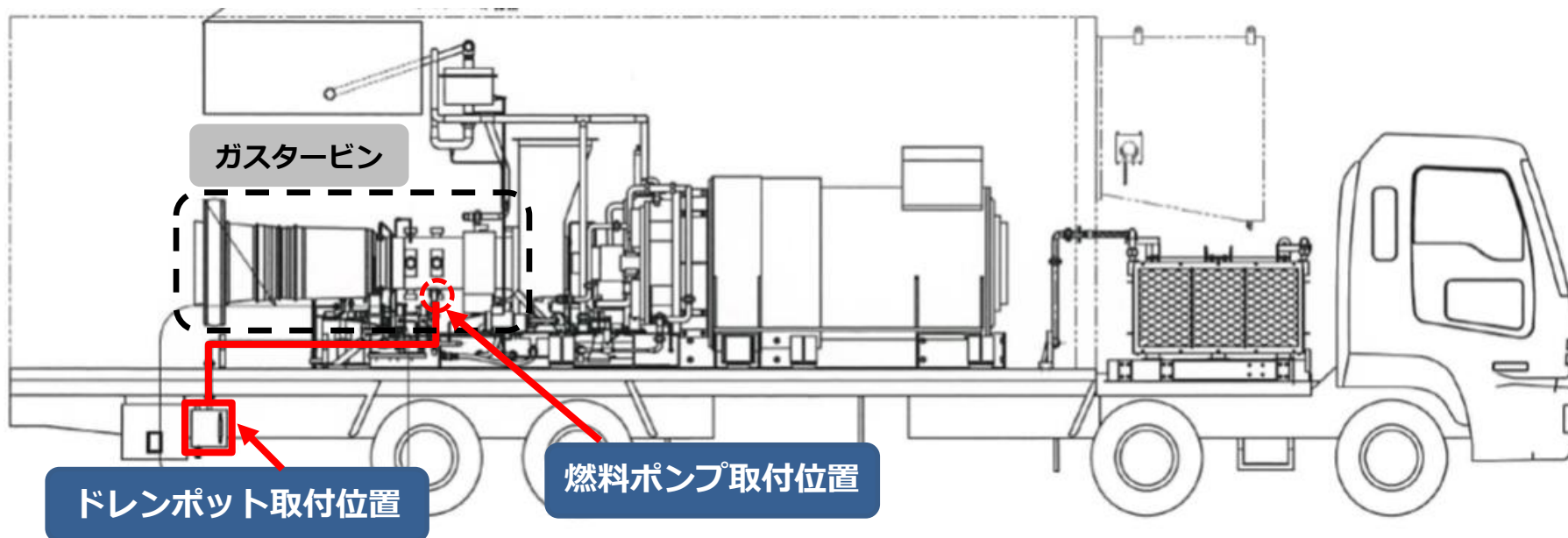
1か月に1回のガスタービン発電機車の確認運転と同じタイミングで、ドレンポットに必要以上に潤滑油が滴下していないか確認し、滴下している量が多い場合には、予備のポンプに交換いたします。なお、ガスタービンを長期間停止する場合には、燃料ポンプの軸受部の潤滑油が不足しないよう、1か月に1回燃料ポンプの確認運転を行うこととします。

【参考】ガスタービン発電機車ならびに燃料ポンプ 外観写真

〔ガスタービン発電機車〕



〔燃料ポンプ〕



プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年2月15日

号機

—

件名

保安規定対象記録の未保存について（区分:Ⅲ）

【事象の発生】

2022年2月10日、社内管理文書の確認を行っていたところ、2017年度分の力量評価記録※が、一部のグループにおいて保存されていないことが判明いたしました。力量評価記録は保安規定で保存期間が5年と定められており、2月14日、当該記録の未保存は保安規定の要求を満たしていないことを確認いたしました。

なお、2017年度の力量評価記録を踏まえて作成される2018年度の教育訓練計画は作成・保存されていることから、2017年度の力量評価記録は作成済みであったものと推定しております。

※原子炉施設保安規定第120条に基づく、力量、教育・訓練及び他の措置について該当する記録。

主にメンバーの担当業務とその業務に関わる力量区分、業務教育（研修）項目の計画と実績が記載されている。

②

【対応状況】

2014年度に発生した同様の不適合との関係も含めて、詳細調査を行い、その結果を踏まえて再発防止の徹底を図ってまいります。

（2022年2月15日にお知らせ済み）

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年2月16日

号機

5

件名

非常用ガス処理系入口隔離弁の動作不良について（区分Ⅲ）

【事象の発生】

2022年2月15日、5号機原子炉建屋4階（管理区域）の原子炉建屋最上階エリアにおいて、非常用ガス処理系（SGTS）※（A系）の入口隔離弁の電磁弁交換作業のため、当該弁を操作スイッチで操作したところ、動作不良（開せず）を確認しました。同日、当該弁の制御部品（リレー）を交換し、動作不良が解消することを確認しております。当該設備は、安全上重要な設備に該当しますが、燃料等の移動に関わる作業を実施していないことから、保安規定上の機能要求はありません。なお、今回の不具合による外部への放射能の影響はありません。

※原子炉冷却材喪失事故等時に、原子炉建屋に漏出してくる放射性ヨウ素や、粒子状の放射性物質が建屋から直接大気へ放出されることを防ぐための系統。

保安規定において、当該設備は燃料等の移動に関わる作業を実施する際、A系とB系の2系列が動作可能であることが求められている。

【対応状況】

当該弁の動作不良は、リレーの交換により解消されたことから、リレー単体の不具合によるものと推定しております。

（2022年2月16日にお知らせ済み）

【原因】

当該リレーについて、取り外した後に動作確認を実施したところ、動作に問題は確認されなかったことから、当該弁の動作不良は、リレー単体の一過性の不具合であると推定しております。

【対策】

今後、リレーの異常等が確認された場合、速やかにリレーの交換を実施することで、同様な事象発生のリスク低減を図ってまいります。

なお、当該弁の動作確認については、これまで定例試験で問題ないことを確認してきました。一方、今回の不適合が確認されたリレーについては、定期事業者検査後のプラント起動前に行う検査で機能を確認していたことから、プラントが長期停止している現状においては、この機能確認は実施していませんでした。今後、プラントの長期停止中においても、定期事業者検査後のプラント起動前に行うリレーの機能検査と同等の確認を実施するなど、リスク低減に向けた対応を検討してまいります。

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年2月9日

号機

1

件名

熱交換器建屋エリア屋外照明用自動点滅器の火災について（区分Ⅰ）

【事象の発生】

2022年1月18日に照明用電源のブレーカーが落ちていたことから、現場調査を実施しておりました。2月8日に1号機熱交換器建屋エリア（非管理区域）の屋外照明用の自動点滅器の外観にひび割れや変色を確認したため、取り外して自動点滅器の内部を調査したところ、焦げ跡を発見しました。これまで当該設備に発煙や異臭等は無く、ブレーカーが落ちた以降は通電をしていないことから、同日、一般回線にて公設消防に状況を報告したところ、2月9日に現場を確認する旨、ご回答をいただきました。2月9日、公設消防による現場確認の結果、自動点滅器のソケット部に焼損が確認されたため、11時10分に火災と判断されました。なお、本件による外部への放射能の影響および、けが人の発生はありません。

（2022年2月9日にお知らせ済み）

④【対応状況】

本事案の発生を受け、発電所構内の同様の屋外照明用自動点滅器（約800個）について、点検調査を2月14日から開始。

（2022年2月24日にお知らせ済み）

【点検状況】

同様の屋外照明用自動点滅器について、3月8日までに全数点検調査を行った結果、火災と判断されるものは確認されませんでした。

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年2月19日

号機

7

件名

タービン建屋大物搬入口エリア電動シャッターのモーター給電ケーブルの火災について（区分Ⅰ）

【事象の発生】

2022年2月14日にタービン建屋大物搬入口エリアの電動シャッターが動作しなかったことから、2月19日に当該の電動シャッターの点検を行ったところ、モーター給電ケーブルに焦げ跡を確認しました。当該設備に発煙や異臭等は無く、通電もしていないことから、同日、一般回線にて公設消防に連絡しました。公設消防による現場確認の結果、明らかな焼損が確認されたため、19時5分に火災と判断されました。なお、本件による外部への放射能の影響および、けが人の発生はありません。

（2022年2月19日にお知らせ済み）

【対応状況】

2月21日に公設消防の立ち合いのもと、当該焦げ跡を調査した結果、モーターのケーブル接続部に一部断線を確認しました。この部分から発熱し、ケーブルの被覆が焦げたものと推定しており、引き続き断線の原因について調査してまいります。

（2022年2月24日にお知らせ済み）

本件を受け、各号機の大物搬入口エリアの電動シャッターの点検を2月25日から開始いたしました。

⑤

不適合情報

2022年2月1日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	原子炉補機冷却中間ループ系ポンプ(A)吐出圧力指示計に、指示不良を確認した。当該圧力指示計を点検・修理。	2022/01/27	
2	6号機	タービン建屋地下2階(管理区域)配管トレンチ内で配管サポート溶接作業に従事していた協力企業作業員の γ 線用警報付きポケット線量計が鳴動し、線量計を確認したところ、 β 線量0.1mSv、 γ 線量0.00mSvを確認した。退域して保安監視員に報告。作業場所のエリアモニタ指示値に、変動がないことを確認。当該線量計の使用を禁止し、作業員の線量評価を実施。	2022/01/27	

不適合情報

2022年2月2日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	換気空調系主冷水ポンプ(A)吐出圧力計に、指針の脱落を確認した。主冷水ポンプ(A)を停止。当該圧力計を交換。	2022/01/26	
2	2号機	原子炉建屋屋上の主排気ダクト蛇腹部カバーに腐食を確認した。当該カバーを修理。なお、蛇腹本体に腐食はなく、漏えいがないことを確認済み。	2022/01/28	
3	7号機	原子炉格納容器圧力逃がし装置系統発錆防止対策のため窒素注入を行っていたところ、系統内の圧力が目標値に到達しないことを確認した。調査の結果、系統過剰圧力防止板の部品の一部に損傷を確認した。当該過剰圧力防止板をメーカーの工場に搬出し、原因を調査。	2022/01/28	
4	その他	直流給電車(β号車)の点検時、整流器1の起動後に故障を示すランプが点灯していることを確認した。調査の結果、4ユニット中1ユニットに素子の故障を確認した。当該事象の原因を調査し修理。なお、直流給電車は他に4台あり、事故時の給電に影響なし。	2022/01/26	

不適合情報

2022年2月4日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	原子炉建屋(非管理区域)非常用ディーゼル発電機(A)非常用送風機階段(1箇所)、タービン建屋(管理区域)南東階段室(1箇所)、北東階段室(1箇所)、海水熱交換器建屋(非管理区域)北西階段室(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/01/24	

不適合情報

2022年2月7日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	換気空調系環境改善用冷水ポンプ(A)の吸込・吐出圧力計に指示固着を確認した。当該圧力計を点検・修理。	2022/01/31	
2	3号機	計装用圧縮空気系除湿装置(B)に空気冷却器出口温度高の警報が発生し、自動停止したことを確認した。調査の結果、空気冷却器出口温度制御装置からうなり音および振動が発生していることを確認した。当該制御装置を交換し復旧済み。	2022/02/01	
3	4号機	原子炉建屋最上階(管理区域)における燃料取替機の動作確認中に、東西方向への走行ができなくなったことを確認した。調査の結果、電気室異常の警報が発生していることを確認した。当該事象の原因を調査し、燃料取替機を修理。	2022/02/01	
4	5号機	常用照明分電盤漏電遮断器の点検において、動作時間管理値の逸脱(1台)、動作不良(1台)を確認した。安全処置として当該回路電源を停止。当該漏電遮断器を交換。	2022/02/01	

不適合情報

2022年2月8日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	4号機	所内用空気圧縮系圧縮機(A)のシリンダーに、異音の発生を確認した。圧縮機(B)に切替を行い運転を停止。当該圧縮機を点検・修理。	2022/02/03	
2	5号機	タービン建屋1・2階(管理区域)作業用分電盤漏電遮断器の点検において、動作時間管理値の逸脱(2台)、動作不良(1台)を確認した。安全措置として当該回路電源を停止。当該漏電遮断器を交換。	2022/02/03	
3	その他	コロナウイルス罹患に関するプレス公表において、報道機関へのFAX送付およびホームページ掲載を行った後に記載情報(県外往来情報)に誤りがあることを確認した。確認後直ちに報道機関への訂正連絡を行うとともに、ホームページ掲載情報の修正を実施。当該事象の原因を調査し、再発防止対策を徹底。	2022/02/02	
4	その他	可搬型モニタリングポスト(No. 1)年次点検の校正前健全性確認(線源照射試験)において、測定値が基準値を逸脱していることを確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2022/02/03	

不適合情報

2022年2月9日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	荒浜側洗濯設備の乾燥機(A)が設定していないにもかかわらず、自動運転から手動運転に切り替わる動作不良を確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2022/02/04	
2	2号機	原子炉建屋(管理区域)南西階段室(1箇所)、北西階段室(1箇所)、南東階段室(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/01/24	
3	3号機	非放射性スチームドレン移送系排水ポンプ(A)の吐出第一弁開操作時に、開状態を示すランプの点灯とともに、閉状態を示すランプが同時に点灯することを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2022/02/04	
4	3号機	原子炉建屋(管理区域)北西階段室(5箇所)、南東階段室(6箇所)、北東階段室(2箇所)、タービン建屋(管理区域)南東階段室(2箇所)、原子炉建屋付属棟(管理区域)北西階段室(3箇所)、北東階段室(2箇所)、南西階段室(1箇所)、南東階段室(3箇所)、(非管理区域)北西階段室(1箇所)、サービス建屋(非管理区域)北西階段室(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/06	
5	4号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)北西階段室(3箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/05	
6	5号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)北東階段室(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/07	
7	5号機	タービン建屋(管理区域)作業用電源設備漏電遮断器の点検において、動作時間管理値の逸脱(4台)を確認した。安全処置として当該回路電源を停止。当該漏電遮断器を交換。	2022/02/07	
8	6号機	原子炉建屋(管理区域)北西階段室(1箇所)、タービン建屋(非管理区域)北西階段室(1箇所)、サービス建屋(非管理区域)北西階段室(1箇所)、北東階段室(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/04	
9	6号機	燃料取替機荷重検出器修理工事において、空気圧縮機が短時間で起動・停止を繰り返すことを確認した。調査の結果、高圧用減圧弁パッキン部に空気の漏えいを確認した。当該減圧弁を交換。	2022/02/07	

不適合情報

2022年2月10日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	モニタリングポスト(No. 5)点検にともなうデータ観測欠測時間の記録が、当直長と点検主管グループとで相違していることを確認した。調査の結果、主管グループが当直長に誤った時間を報告していたことを確認した。当直長記載時間の修正について技術的再評価を行い訂正。	2022/02/03	
2	2号機	タービン建屋1階(管理区域)南側壁面に、水のしみおよび床面に水溜まり(汚染なし、約120cc)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2022/02/04	

不適合情報

2022年2月14日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	その他	2022年2月10日、社内管理文書の確認において2017年度分の力量評価記録が、一部のグループにおいて保存されていないことが判明した。当該記録は保安規定で保存期間が5年間と定められており、2022年2月14日に保安規定の要求を満たしていないことを確認した。なお、2017年度の力量評価記録を踏まえて作成される2018年度の教育訓練計画は作成・保存されていることから、2017年度の力量評価記録は作成済みであったものと推定。2014年度に発生した同様事象との関係も含めて詳細調査を行い、結果を踏まえて再発防止を徹底。 【2022年2月15日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2021/2022021501p.pdf	2022/02/03	—

3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	所内蒸気系配管ドレン完了後に原子炉建屋蒸気入口弁(2)の全閉操作を行ったところ、弁が全閉しないことを確認した。当該弁を点検・修理。	2022/02/07	
2	3号機	原子炉建屋(管理区域)北西階段室(5箇所)、北東階段室(5箇所)、南東階段室(6箇所)、タービン建屋(管理区域)南東階段室(2箇所)、主復水器室(1箇所)、タービン建屋(非管理区域)排風機室(1箇所)、サービス建屋(非管理区域)北西階段室(2箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/01/31	
3	5号機	原子炉再循環流量制御系すくい管コントローラー盤(B)軽故障の警報が発生したことを確認した。安全処置として電源を停止。当該コントローラー盤を点検・修理。なお、当該設備は発電所の停止にともなう長期停止措置中であり、停止にともなう影響なし。	2022/02/08	
4	7号機	非常用ガス処理系排ガス放射線モニタB(電離箱)に、プロセス放射線モニタ下限/動作不能の警報が発生したことを確認した。サンプリングバイパスにより警報を解除。なお、モニタA(シンチレーション、電離箱)およびモニタB(シンチレーション)の指示値は正常で、監視機能に問題なし。	2022/02/08	
5	その他	荒浜側焼却設備排ガスサンプリング用閉止フランジ部の取付用ボルト・ナットに、固着を確認した。当該ボルト・ナットを修理。なお、焼却設備の運転に影響なし。	2022/02/08	

不適合情報

2022年2月15日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	1号機	2022年1月18日のパトロール時、照明設備用電源のブレーカーが動作していたことを確認した。現場調査を行っていたところ、2022年2月8日に海水熱交換器建屋エリア照明用自動点滅器の外観にひび割れ・変色を確認した。取り外して内部を確認したところ焦げ跡を発見し、公設消防に報告。2022年2月9日に公設消防による現場確認の結果、自動点滅器のソケット部に焼損が確認されたことから火災と判断された。当該事象の原因を調査。 【2022年2月9日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2021/2022020901p.pdf	2022/02/09	G III

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	コントロール建屋(管理区域)南東階段室(2箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/06	
2	2号機	放射性廃棄物処理設備中央制御室において、情報処理装置(101)故障警報の発生を確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。なお、情報処理装置(102)は正常で、設備の運転に問題なし。	2022/02/08	
3	3号機	換気空調補機常用冷却水系冷凍機(D)点検における浸透探傷検査において、インペラー(羽根車)に指示模様を確認した。当該インペラー(羽根車)の傷を修理し、再度浸透探傷検査を行い、異常のないことを確認済み。	2022/02/04	
4	3号機	原子炉建屋(管理区域)北西階段室(3箇所)、北東階段室(1箇所)、南西階段室(2箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/01/31	
5	4号機	非常用ディーゼル発電機(B)点検時、潤滑油プライミングポンプに吐出圧力低警報の発生を確認した。調査の結果、潤滑油加熱器バイパス弁が1/2開設定のところ、全開になっていたことを確認した。潤滑油加熱器バイパス弁を1/2開に調整し、潤滑油プライミングポンプが正常に運転することを確認し復旧済み。	2022/02/11	
6	6号機	原子炉格納容器ドライウェルダイヤフラムフロア(管理区域)で配管保温取外作業に従事していた協力企業作業員が入退域処理装置で退域処理を行ったところ、β線0.1mSv、γ線0.3mSvが記録されていた。作業員に確認したところ作業中に線量計の警報が鳴動しなかったこと、また、作業エリアのβ線線量当量率も0.1mSv未満であることを確認した。当該線量計の使用を禁止し作業員の線量評価を実施。	2022/02/09	
7	7号機	タービン建屋(管理区域)北西階段室(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換し復旧済み。	2022/02/09	
8	その他	免震重要棟コンピュータ室において、1号機、2号機、3号機、6号機のプロセス計算機で警報の発生を確認した。調査の結果、安全関連パラメータ表示システム用ネットワーク装置(1系HUB)の電源断を確認した。当該装置を交換し、警報の解除および通信状態が正常であることを確認し復旧済み。	2022/02/09	
9	その他	2022年2月9日、2022年1月20日確認分の不適合情報がホームページ掲載されていなかったことを確認した。直ちにホームページ掲載を実施。当該事象の原因を調査し、再発防止対策を徹底。 【2022年1月20日確認分】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/2021/20220120.pdf	2022/02/09	

不適合情報

2022年2月16日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	換気空調系主冷水ポンプ(A)吸込圧力指示計に、指示不良を確認した。当該指示計を点検・修理。	2022/02/09	
2	1号機	154kV変電所直流充電器盤点検において、交流電圧検出リレーにうなり音の発生を確認した。当該リレーを交換。	2022/02/09	
3	3号機	原子炉建屋天井クレーン点検の制御盤点検において、クレーン配電盤内照明灯配線用遮断器を断できないことを確認した。当該遮断器を修理。なお、クレーンの運転に影響なし。	2022/02/09	
4	5号機	原子炉建屋(管理区域)北西階段室(1箇所)、南西階段室(1箇所)、南東階段室(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/12	
5	5号機	タービン建屋(管理区域)南西階段室(1箇所)、南東階段室(3箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/13	
6	5号機	原子炉建屋(管理区域)南東階段室(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/13	
7	6号機	計装用圧縮空気系除湿装置(A)に空気冷却器出口温度高の警報が発生し、除湿装置(A)が自動停止し、除湿装置(B)が自動起動したことを確認した。調査の結果、空気冷却器出口温度制御装置の異常と推定。当該制御装置を交換し復旧済み。	2022/02/12	

不適合情報

2022年2月17日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 14件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	サービス建屋(管理区域)直員控室脇階段室(1箇所)、管理区域アクセス通路中1階階段室(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/12	
2	1号機	コントロール建屋(管理区域)北東階段室(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/13	
3	1号機	変圧器監視用テレビモニタ装置(主変圧器他/補助ボイラ用変圧器)の屋外中継箱(3)に異音が発生し、カメラ操作をしていないにもかかわらず、旋回動作することを確認した。カメラ電源を停止。当該カメラを点検・修理。	2022/02/14	
4	3号機	原子炉建屋排気処理装置(C)排気フィルタの差圧が低下していることを確認した。調査の結果、排気フィルタに破損(21枚中5枚)を確認した。当該フィルタを交換。	2022/02/10	
5	4号機	原子炉建屋1階(管理区域)北側手動二重扉の内扉開閉ハンドルが空回りし、扉を閉できないことを確認した。当該扉を点検・修理。なお、外扉は閉状態であり、原子炉建屋の負圧機能に問題なし。	2022/02/08	
6	4号機	原子炉建屋(管理区域)南東階段室(1箇所)、南西階段室(1箇所)、北西階段室(3箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/07	
7	4号機	タービン建屋(非管理区域)東階段室(2箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/08	
8	4号機	海水熱交換器建屋地下2階(非管理区域)南西コーナー壁面に、地下水と思われる水の染み出しを確認した。当該箇所を点検・修理。	2022/02/15	
9	5号機	非放射性スチームドレン移送系収集タンク(A)入口第二弁全閉時、全閉を示す緑ランプの点灯に時間を要していることを確認した。調査の結果、弁開閉位置検出スイッチの動作不良と推定。当該スイッチを点検・修理。	2022/02/10	
10	5号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)南西階段室(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/12	
11	その他	固体廃棄物処理建屋屋上に設置している電気室パッケージエアコンの室外機に、傾きを確認した。転倒防止の応急処置を実施。当該エアコンを交換。	2022/02/09	
12	その他	2021年12月24日に原子力規制庁に提出した核物質防護規定変更認可申請書の資料に、組織改編にともない変更すべき箇所の記載漏れを確認した。資料を訂正し再提出。	2022/02/07	
13	その他	大湊側補助ボイラー(4B)水張り後のパラメーター(指示計等)確認時、溶存酸素指示値が通常より高いことを確認した。調査の結果、ボイラー缶体に脱酸剤が注入されていないと推定。当該注入設備を点検・修理。	2022/02/09	
14	その他	大湊側雑固体廃棄物焼却設備点検時、排ガスクーラーバイパス弁に固着を確認した。当該弁を修理。	2022/02/14	

不適合情報

2022年2月18日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. GⅠグレード 0件
- 2. GⅡグレード 0件
- 3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	開閉所北側エリアの屋外照明の消灯を確認した。調査したところ、66kV北側開閉所廻り照明用制御盤漏電遮断器が動作しており、電源回路の絶縁抵抗測定で一部の回路に管理値の逸脱を確認した。当該の照明用遮断器を切り、その他の照明用電源を復旧。当該絶縁不良箇所を調査し修理。	2022/02/15	
2	3号機	計装用圧縮空気系除湿装置(B)点検中に除湿装置(A)の制御ヒューズ復旧作業を実施したところ、除湿装置(B)入口弁が閉動作したことを確認した。調査の結果、手順書が除湿装置(B)が正常に運転している状況で使用するものであり、安全処置の追加など、事前検討が不足していたと推定。当該手順書を改訂。	2022/02/01	
3	5号機	換気空調補機常用冷却水系冷凍機(D)点検の気密確認において、油クーラー冷却冷媒入口弁および圧縮機ギヤボックス予備弁の弁棒付け根に冷媒の漏えいを確認した。当該冷媒入口弁および圧縮機ギヤボックス予備弁を交換。	2022/02/15	
4	6号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)点検の潤滑油ヒーター絶縁抵抗測定において、ヒーター2台のうち1台が判定値を逸脱していることを確認した。当該ヒーターを交換。	2022/02/10	
5	6号機	非常用ディーゼル発電機二酸化炭素消火設備(A系)消防検査前の噴射試験時、A系選択弁のシリンダーねじ部に摩耗を確認した。当該消火設備の使用を休止。当該シリンダーねじを交換。なお、消火設備休止にともない、大型消火器を配備済み。	2022/02/15	

不適合情報

2022年2月21日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	タービン建屋(管理区域)北西階段室(4箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/16	
2	5号機	非常用ガス処理系(A系)入口隔離弁の電磁弁交換作業のため、当該弁を開操作したところ、開しないことを確認した。調査の結果、当該弁制御部品(リレー)の動作不良と推定。当該リレーを交換し、開することを確認。なお、B系は正常で機能に影響なし。 【2022年2月16日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2021/2022021601p.pdf	2022/02/15	
3	7号機	原子炉建屋(管理区域)北側階段室(1箇所)、南側階段室(3箇所)、タービン建屋2階(管理区域)北西側フロア階段(1箇所)、北西階段室(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/16	

不適合情報

2022年2月22日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	4号機	タービン建屋地下1階(管理区域)復水器室内西側の非放射性ドレン移送系配管に微小な孔が発生し、水の滴下および床面に水溜まり(約40cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。当該配管を修理。	2022/02/15	
2	5号機	漏電遮断器の定例点検において、原子炉建屋最上階(管理区域)常用照明分電盤の漏電遮断器(2台)に、動作時間の管理値逸脱を確認した。当該遮断器の電源を停止。当該遮断器を交換。	2022/02/16	
3	その他	固体廃棄物処理建屋モルタル供給設備の弁点検について、交換部品の納期遅延にともない点検期限の延長が必要なことを確認した。点検期限の延長について技術評価を実施。	2022/02/15	
4	その他	発電所運転員(代表34名)の過去5年分の教育・訓練実績の調査において、2016年度の社内訓練未受講者(1名)を確認した。調査の結果、当該運転員は社内訓練が開始された2014年度は福島第一に勤務しており、受講対象外(任意受講)であった。2015年度に柏崎刈羽に異動したが、2016年度受講対象者選定の際に、受講条件の相違を誤って判断したものと推定。当該運転員について、他の訓練実績から必要な訓練項目の評価を行い、問題ないことを確認済み。	2022/02/18	

不適合情報

2022年2月24日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	原子炉建屋付属棟(非管理区域)2階南西階段室前(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/17	
2	2号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)南西階段室(3箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/21	
3	4号機	海水熱交換器建屋地下1階(非管理区域)原子炉補機冷却系ポンプ(D)南側壁面に水の滲み(5箇所)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2022/02/21	
4	5号機	原子炉建屋(管理区域)北東階段室(1箇所)、南西階段室(1箇所)、南東階段室(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/18	
5	5号機	タービン建屋(管理区域)排風機室内(1箇所)に、通路誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/02/20	
6	7号機	主蒸気配管閉止プラグの点検時、近接スイッチ(1箇所)の損傷を確認した。当該および類似スイッチ(合計12箇所)を交換。	2022/02/17	

不適合情報

2022年2月25日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	7号機	2022年2月14日、タービン建屋大物搬入口電動シャッターが動作しなかったため、2月19日に点検を行っていたところ、当該シャッターのモーター給電ケーブルに焦げ跡を確認した。公設消防による確認の結果、ケーブルに明らかな焼損が認められたため火災と判断された。当該事象の原因を調査。 【2022年2月19日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2021/2022021902p.pdf	2022/02/19	G III

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	原子炉建屋最上階(管理区域)における燃料取替機の動作確認時、主ホイストの巻き上げ動作不良を確認した。燃料取替機を使用済燃料プール内の燃料ラック上でない位置、および監視用テレビモニタ装置が水面監視可能な位置まで移動済み。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2022/02/21	
2	その他	荒浜側補助ボイラー(5A)の安全弁作動試験において、配管凝縮水排水装置上流ドレン弁にシートバスを確認した。また、主蒸気管(A)接続配管の上流ドレン弁にも微量な蒸気漏えいを確認した。補助ボイラー(5A)を停止。当該弁を点検・修理。	2022/02/18	
3	その他	2022年2月22日、モニタリングポスト(No. 4)のデータ伝送回路4回線のうち3回線が一時的に通信できなくなったことを確認した。調査の結果、衛星回線の2回線は荒天候障害によるもの。1回線はテレメータ中央演算装置の軽故障と判明。中央演算装置を再起動し復旧済み。念のため中央演算装置を交換。なお、残りの1回線に異常はなく、外部(新潟県、発電所ホームページ)へのデータ伝送に影響なし。	2022/02/22	

不適合情報

2022年2月28日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	5号機	No. 3純水タンクの雨水排水配管に腐食を確認した。当該排水配管を交換。	2022/02/19	
2	5号機	放射性廃棄物処理設備制御用コントローラ盤に、制御装置故障の警報および多重伝送現場盤異常警報の発報を確認した。調査の結果、多重伝送現場盤内の電源ユニットの不具合と推定。当該電源ユニットを交換。	2022/02/22	
3	7号機	タービン建屋地下2階(管理区域)復水器過装置逆洗水移送ポンプ室および隣接区域の床面に、地下水の染み出し(約16cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2022/02/24	

核物質防護に関する不適合情報

2022年2月1日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2022/01/19	

核物質防護に関する不適合情報

2022年2月8日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	見張人が、核物質防護上の区域出入口にて、有効期限切れの入構証を提示した作業員の入域を制止した。その後の調査の結果、当該作業員が、過去に有効期限切れの入構証を用いて入域していたことを確認した。入構証の所持者と管理者が有効期限切れに気付かなかったこと、見張人が入構証の有効期限切れを発見できなかったことが原因。 対策として、入構証の所持者と管理者に有効期限の管理を徹底すること、見張人にシステム利用を含めた有効期限確認を厳正に実施することを周知した。 なお、現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認済み。	2021/12/08	

3. 公表区分Ⅲ 0件

4. 公表区分その他 2件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	社員より、入構証を紛失したとの連絡があったことから、当該入構証の無効化措置をするとともに、所内に保管管理徹底の注意喚起を行った。 なお、後日、当該入構証は発見され、不正使用された形跡も確認されなかった。	2022/1/18	
2	核物質防護上の門扉が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該門扉を封鎖するとともに、他の扉での出入りを行った。	2022/01/20	

核物質防護に関する不適合情報

2022年2月15日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上の扉が、正常に開放できないことを確認した。障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉を封鎖した。	2021/10/29	

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2022年3月)

2022年3月10日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1号機 110万kW (1985.9.18運開)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6~	第15回 2007.5.4 ~ 2010.8.4 停止期間 2007.5.4 ~ 2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31)	第16回定検による停止												<燃料の管理> ○ 燃料は、現在、1~7号機の使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続中。 ○ プール水温は、管理上の上限値(65℃)を超えないように管理しており、仮に冷却が停止したとしても、4日以上は管理上の上限値に達しないものと評価しています。
2号機 110万kW (1990.9.28運開)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19~	第11回 2005.9.3 ~ 2006.5.9 停止期間 2005.9.3 ~ 2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22)	第12回定検による停止												
3号機 110万kW (1993.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19~	第9回 2006.5.12 ~ 2006.9.15 停止期間 2006.5.12 ~ 2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24)	第10回定検による停止												
4号機 110万kW (1994.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11~	第9回 2006.4.9 ~ 2007.1.11 停止期間 2006.4.9 ~ 2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11)	第10回定検による停止												
5号機 110万kW (1990.4.10運開)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25~	第12回 2006.11.24 ~ 2011.2.18 停止期間 2006.11.24 ~ 2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18)	第13回定検による停止												
6号機 135.6万kW (1996.11.7運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2012.3.26~	第9回 2010.10.31 ~ 2011.3.9 停止期間 2010.10.31 ~ 2011.1.26 (88日) (原子炉起動2011.1.23)	第10回定検による停止												
7号機 135.6万kW (1997.7.2運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23~	第9回 2010.4.18 ~ 2010.7.23 停止期間 2010.4.18 ~ 2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26)	第10回定検による停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (2月末現在)

2月	0.0%
2021年度累計	0.0%
運転開始後累計	41.7%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (2月末現在)

2月	0
2021年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (2月末現在)

当月発生本数	45
貯蔵庫累積貯蔵本数	29,996
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2021年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (3月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率※1
県内	柏崎市	786	2,289	55%
	刈羽村	71	258	6%
	その他	140	1,015	21%
	小計	997	3,562	81%
県外		129	938	19%
合計		1,126	4,500※2	-
		5,626		100%
協力企業社数(社)		709		

※1 端数処理のため、割合の合計は100%にならない場合があります。
 ※2 参考：3月1日の協力企業構内入構者数3,608人

⑦ 来客情報(人) (2月末現在)

	2月	年度累計
地元	488	10,063
県内	201	4,157
県外	63	1,947
国外	0	25
合計	752	16,192

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
3月17日、18日	6号機非常用ディーゼル発電機の24時間連続運転試験
3月24日	定例所長会見(予定)
4月14日	定例記者説明会(予定)
4月15日、16日	映画観賞会(柏崎市産業文化会館)
※3月19日、20日に予定していた映画観賞会(柏崎市産業文化会館)については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止いたします。	

インターネットホームページアドレス
https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/kk-np/index-j.html

東京電力ホールディングス株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)